

1 開催日時・会場

平成 29 年 3 月 24 日（金） 10：00～11：40 万国橋会議センター4階 401・402 号室

2 傍聴者・報道

無し

3 要旨

(1) 挨拶

【神奈川県（エネルギー担当局長）】

- ・本協議会は、次世代自動車として燃料電池自動車（FCV）と電気自動車（EV）の普及推進を図るため、平成 25 年 8 月に設置した。
- ・FCV・水素関連では、協議会として平成 27 年 3 月に「神奈川の水素社会実現ロードマップ」をとりまとめたが、その内容はFCVだけに限らず、その先の水素社会の実現という、より広いテーマを扱うものとして策定したところ。
- ・しかし、協議会の名称に自動車が冠されていることから、県庁内、外からは、ともすれば自動車だけのことをやっていると認識されていることもあり、実態と一致していない部分もある。
- ・そこで今回は、議題の 1 番目として、協議会の名称見直しについて、事務局から提案させていただき協議をさせていただく。
- ・その議題も含め、次第のとおり協議事項 2 つ、報告事項 3 つという内容で会議を進めていくので、忌憚のない意見を頂戴したい。

(2) 議題

○議題 1 協議会の組織見直しについて [協議事項]（資料 1）

事務局説明

- ・「資料 1」に沿って事務局提案の趣旨、見直しの必要性、見直しの内容、今後のスケジュールを説明

東海大学 内田教授によるプレゼンテーション

- ・内田教授から、配布資料に沿って最近の水素エネルギーの動向や、そうした動向を踏まえた本協議会の名称変更等についての、県への提案趣旨について説明。

（主なコメント）

【神奈川県】

- ・名称については内田教授より、水素・次世代エネルギーシステム普及推進協議会とご提案をいただいたが、事務局としては、水素も次世代エネルギーシステムに含まれるとして、「次世代エネルギーシステム普及推進協議会」と提案している。
- ・水素を特だしにして打ち出していこうという考え方もあるかと思う。そのあたりでご意見を伺いたい。
- ・また、会員区分については、現在、学識経験者の方をその他区分で、企業名の会員としている。しかし学識経験者の区分も必要と考え、このような見直しとなっている。

【内田教授】

- ・日本エネルギー学会、国際水素エネルギー協会は神奈川県が水素革命を行ったときからお手伝いをしていくという意思表示をしている。いつでも協力していく。

【神奈川県】

- ・ありがとうございます。
- ・今は学識経験者を2名としているが、みなさんも推薦したい方がいらっしゃれば推薦してほしい
- ・今回の見直しは来年度7月に予定の第1回協議会で要綱改正など決定させていただく。その前に事務局よりご意見をうかがわせてさせていただくので、よろしく願います。

○議題2 「神奈川の水素社会実現ロードマップ」について [協議事項] (資料2)

事務局説明

- ・「資料2」に沿って、取組状況の把握の必要性や、把握の方法等の案について説明した上、現時点の普及の数値目標を掲げた事項の状況や、事前照会により各会員から集約し整理した表に沿って神奈川県の取組状況を説明。

(主なコメント)

【横浜市】

- ・順を追って、ポイントのみ。自動車については、27年度から補助。実績は29台。バス・タクシーではバスの導入に向けた検討をしている。
- ・公用車は今まで7台導入。イベントは13回。自分のところの車のみ。全体数は把握していない。
- ・災害時の活用はイベントでPRしている。
- ・オリンピックパラリンピックについては、バスの活用を検討している。
- ・ステーションは、現在市内に移動式2箇所、固定式4箇所、計6箇所の設置。これまで固定式の補助を2箇所実施。移動式、簡易式についても補助制度あり。
- ・家庭用燃料電池は24年度から補助を行っている。28年度からは、集合住宅も含めて開始したが、集合住宅の実績はない。家庭用とは別に産業用も今年度から行ったが、実績はまだない。公共施設への率先導入については、新市庁舎に導入予定。

【川崎市】

- ・FCV導入補助はやっていない。公用車1台を導入し、イベント等における展示、同乗体験を実施してきた。
- ・水素ステーションの関係については、市の施設の川崎マリエン駐車場で運用を開始。
- ・家庭用燃料電池では、平成25年度から補助を行っている。28年度から要件を変更し、エネルギー管理装置を合わせて導入することとして、実施している。

【相模原市】

- ・FCV導入1台あたり50万円。27年度から始めている。さがみはら産業創造センターの中にあるベンチャー支援機関の燃料電池研究会で研究、検討を行っている。九都県市首脳会議のとりまとめを相模原で行った。昨年10月にFCVを1台導入し、計2台のFCVを所有。子供向けとして、学校教育で活用している。具体的には理科の授業でFCVを活用。子供達にも人気。

- ・ステーションについては、現在定置式の補助制度はないが、計画の中に今後作っていく。30年度を目処に来月以降検討し、対象があれば、早めに支援できるよう進めていく。効率的効果的な支援ができるよう、地元ならではの情報収集を図って行きたい。
- ・エネファームについて平成 26 年から支援をしている。

【本田技研工業】

- ・自動車メーカーとしては、FCVの普及に伴い、コストダウンが必要不可欠と理解している。そういった意味合いでGMと次期モデルを念頭においた、FCスタックの発表を1月31日に行った。あわせて、次期モデルの開発にも着手。
- ・SHSを来年度中に神奈川県に設置していただく。これにあわせて、県と一緒にハイヤー等で県民の皆様に促進していければ。

【那須電機】

- ・自動車メーカーや一般向けに大々的にはしていないが、水素吸蔵合金タンクの販売、営業をしている中で、自社内にあるシステムを見せることで、普及になっているかと思いかかせてもらった。
- ・水素はいろんな供給源と、いろいろな使い方があるが、車のイメージが強い。車以外の使いかたをこのような形でPRしてく方法もあるのではないかと。

【スズキ】

- ・FC二輪車が3月にナンバーを取得し、公道走行を始めたのでその紹介。3月21日に国交省と弊社でプレスリリースをし、水素の充填は、静岡と福岡などに設置のステーションを活用と記載。神奈川では、水素充填ができないので、まだ走れないが、いずれ神奈川でも水素充填できるようにしたいと考えているので、皆様のご協力をお願いしたい。

【内田教授】

- ・那須電機さん、遠慮しておっしゃらないけど、東京海洋大の燃料電池船もやっているのでは？ そのような使い方もある。
- ・二輪車がようやく出てきたなあと思うが、2005年にホンダがベトナムで二輪車のデモをやっている。あの中に高圧水素タンクを入れるのを日本では許可しなかったのが、ハノイかホーチミンでやった。何気圧くらいか？

【スズキ】

- ・70気圧。10リッターの小ささなので、プロトコルを変えないと法の規制がある。プロトコルを変えたステーションでないと充填できないという課題がある。

【神奈川県】

- ・那須電機さんのデモ設備は、見学というのは可能か。

【那須電機】

- ・小さいところで、現在工場の整備をしているところでもあるので、今はできない。

【JXエネルギー】

- ・3月にオープンした綱島のステーションに、弊社として初めての水素の普及啓発施設としてスイソテラスをオープンした。ぜひ活用していただければ。団体ということであれば、予約が必要だが、火曜、木曜の午後一般開放している。

○議題3 次世代自動車の普及啓発活動について [報告事項] (資料3)

事務局説明

- ・「資料3」に沿って、神奈川県での普及啓発活動の実施状況について説明するとともに、事前照会により集約した、各会員の活用可能な資源及び普及啓発活動に関するアイデアを照会。

(主なコメント)

【神奈川県】

- ・資料3について県のイベントへご協力いただきありがとうございます。
- ・一覧は主なイベントで、毎年だいたいこのスケジュールで実施される予定。またご協力をお願いします。
- ・資料3について質問や意見を伺いたい。

【日産自動車】

- ・県内での普及なので、そこに焦点を絞っていくことが必要。
- ・県内の市町村のいろいろな部局を集めた試乗会や県内の民間事業者を集めた試乗会などターゲットを絞った普及が必要では。こういったところから自治体の導入につながることもある。
- ・EVは環境面プラスランニングコストが安いという面がある。その安さを実感してもらえようような長期間モニターをするなど、自治体の力を借りながらやっていくのが普及につながるのではないか。

【神奈川県】

- ・皆さんからいただいたアイデアについて検討していく。

○議題4 「神奈川県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」の見直しについて

[報告事項] (資料4)

事務局説明

- ・「資料4」に沿って、見直し後の「神奈川県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン(案)」について、見直しにあたっての考え方、数値設定の方法及び国補助関連との関係等について説明。

(主なコメント)

特になし

○議題4 国・自治体の来年度予算について [報告事項]情報・意見交換

各団体より

- ・各団体の提供資料に基づき説明。

【資料提供者】

- ・資源エネルギー庁、神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市

(トピックス等)

【資源エネルギー庁】

- ・29年度予算案では水素・燃料電池戦略ロードマップの各フェーズにそった予算メニューを用意している。

【神奈川県】

- ・燃料電池自動車導入費補助、水素ステーション補助を来年度も引き続き実施する。
- ・次世代自動車普及推進事業として、EV、FCVの普及を図っていく。

【横浜市】

- ・燃料電池自動車の購入補助、水素ステーションの整備促進補助を引き続き実施。
- ・公用車としても来年度に3台導入予定。
- ・イベント等で移動式燃料電池を活用し水素エネルギーの普及啓発を実施。

【川崎市】

- ・次世代自動車の普及促進を引き続き実施していく。
- ・公用車として2台来年度に導入する。
- ・新規事項として、「川崎水素ネットワーク」の構築に向けた検討を行う。

【相模原市】

- ・EV・FCVの購入奨励金の設置。
- ・定置型の水素ステーションの設置を検討する。
- ・日産自動車からのe-NV200無償貸与事業を活用していく。

【横浜市】

- ・超小型モビリティを利用したカーシェアリングを実施していたが、今回はラウンドトリップ型で実施する。

○議題6 その他

事務局より

- ・来年度の協議会は7月頃に開催したい。
- ・その際、本日の協議会で会議名称、区分を提案させていただいたが、年度明けに、意見照会等により会員の意見を集約した後、次回の協議会で、要綱の改正、会議名称の変更について決められるように進めていきたい。
- ・また、年度切り替えによる人事異動等に伴う、各会員の担当者の変更有無についても確認をさせていただき予定なので、ご協力をお願いしたい。
- ・取組みに関連する課題等があれば、いつでも県にご連絡をいただきたい。今後とも、本協議会を通じ、民間と行政の連携した取組の加速化を図ってまいりたい。

以上